

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2121

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島大学		科目開講 キャンパス	東千田キャンパス		
2. 科目名	正式科目名	計量経済学			クラス名	
	副題				配当年次	2年次
	旧科目名	計量経済学 1			受入学年	
	学問分野	番号	23	名称	経済学	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	小瀬 光博					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	28年10月 3日(月)～29年 2月13日(月) 月曜日 19:40～21:10					
個別開講日	1回目 10/ 3	2回目 10/17	3回目 10/24	4回目 10/31	5回目 11/ 7	6回目 11/14
	7回目 11/21	8回目 11/28	9回目 12/ 5	10回目 12/12	11回目 12/19	12回目 1/16
	13回目 1/23	14回目 1/30	15回目 2/ 6		試験日	2/13
7. 基礎知識の有無	「基礎知識を必要とする科目」(統計学, マクロ経済学)					
8. 募集人数 (総授業定員)	5人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>授業はマクロ経済データを対象とする計量経済分析の基礎理論の修得, Excel や EViews といったアプリケーション・ソフトウェアの操作の習熟, 及びそれらに基づいての経済データ分析・経済の実証分析への応用力の養成に重点を置いて, 講義と実習を織り交ぜて進められる。実習では, 現実の経済データのみならず, 乱数によって人工的に生成されたデータも使用される。</p> <p>1回目 授業の概要 2回目 マクロ経済データと計量経済学 3回目 回帰分析の概要 4回目 回帰分析の意義と問題点 5回目 実習 (Excel 操作; 散布図, 回帰分析) 6回目 回帰分析における構造変化 (ブレイク) とその検出について 7回目 実習 (EViews 操作; Chow 検定と Wald 検定) 8回目 系列 (自己) 相関とその意味 9回目 系列相関の検出と系列相関を踏まえての回帰分析 10回目 実習 (EViews 操作; 系列相関の検出と系列相関のある場合の推定) 11回目 時系列データと回帰分析 12回目 確率現象, 乱数, シミュレーション 13回目 実習 (EViews 操作; 乱数の発生法と人工データの作成) 14回目 多変量時系列データにおける見せかけの相関 15回目 実習 (EViews 操作; 見せかけの相関についてのシミュレーション)</p>					
11. 試験・評価方法	中間レポート50%, 期末試験50%					
12. 別途負担費用	特になし。					
13. その他特記事項	受講者が多い場合には, EViews を使用せず, Excel のみでの実習となる。					
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生 (単位付与) として受け入れ			可		
	聴講生 (単位認定不要) として受け入れ			可		